

# 誰もが簡単に骨盤底筋セルフケアを可能に

## 「尿漏れ」を改善し、社会的フレイルを予防

moreover、「sokoage」今夏リリース

筑波大学での研究成果をもとに開発中の、骨盤底をほぐすことで尿漏れや頻尿の改善に導く「sokoage（ソコアゲ）」。

社名 moreover にも「漏れ・終わり」の意を含んでいるように、「世の中の漏れを抑えたい」というのが、同社の理念だ。

**若い世代でも尿漏れ有症率高い**

尿漏れや頻尿は機能的な衰えによるものだが、精神的なストレスや心理的な負担から自信喪失にもつながる。臭いも気になって、外出や日常の行動を控えると社会的フレイルに陥るリスクも高まる。

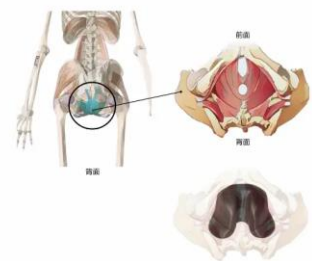
膀胱・膣・直腸との関係性、脊柱との関連性で骨盤底筋に負担がかかりがちで、40～60代の尿漏れ（軽失禁、ちよい漏れ）は起こりやすくなる。

同社では「sokoage」のリリースに合わせて、LINEでのサポートプログラム（動画・メッセージ等）も開発中。また先行するかたちで、尿漏れ・頻尿改善のオンラインレッスンや骨盤底筋ケアセミナーを行っている。

[次頁につづく](#)



骨盤底筋に特化した形状だから、sokoage に座るだけ



「デリケートな症状によって失われた自信を取り戻しましょう」と呼びかけるのは、同社代表の大西安季さん。

大西代表によれば、尿漏れ有症率は世界で25～45%と、腰痛と同じくらいの割合だという。一方日本では40歳以上の女性で44%、男性で18%。特に注目したいのは、筑波大学での研究の調査結果だ。20～64歳の女性3,000人のうち26%で尿漏れが認められたという。

「20代、30代でも出産を経験された方は有症率が高まります。そうした方々が高齢化に伴って重症化しないよう、早いうちからセルフケアすることの重要性を啓発することも大切になります」

もっとも出産の経験のない女性でも、勝



品川区主催のビジネスコンテスト「第14回ウーマンズビジネスグランプリ2025 in 品川」のグランプリファイナルにおいて「さわやか信用金庫賞」受賞

## 「sokoage」の特徴

- 1) 骨盤底筋の柔軟性に着目: 骨盤底筋をほぐすことのできる特異的な形状を開発。
- 2) ジェンダーレスなデザイン: 男女問わず、誰もが快適に使うことのできる設計。
- 3) 手のひらサイズ: 持ち運び可能で屋内外どこでも使用可能。周りから気づかれないサイズ感。
- 4) 服の上から使用: 尿漏れ対策は継続することが重要。場所を選ばないことで継続しやすい。
- 5) 簡便性と継続性を重視: 日常生活に取り入れやすいデザイン。
- 6) 研究成果に基づいた製品開発: 研究成果を基に開発

<https://researchmap.jp/onishiaki>



**大西 安季** おおにし あき  
株式会社moreover代表取締役

病院、クリニック、訪問看護ステーション、介護施設におけるリハビリテーションに従事。筑波大学大学院にて骨盤底筋の柔軟性に着目した尿漏れ改善対策の開発研究にて博士取得。研究成果を基に2022年より「sokoage」の開発を開始。

<https://moreover.jp/>

